

## 災害対策、待ったなし！…まずは避難所のトイレ対策を



「災害で断水している場合、**避難所で最初にすべきことは、トイレに携帯トイレ（洋式トイレに袋を被せて排泄後に凝固剤を掛ける方式）をセットすること！**」と防災シンポジウムで教えて頂きました。流れないトイレは悲惨です。トイレを我慢することは体調悪化の大きな原因になります。今回の議会で避難所のトイレには**普段から「携帯トイレ」をストックし、災害の時の使い方を分かりやすく示しておく**ことを強く要望しました。

大阪府が今年6月に発表した災害時救援物資備蓄方針では、南海トラフ地震での**高石市の想定避難所避難者数は23,087人**です。しかし**高石市の携帯トイレの備蓄数は1,780個**との答弁がありました。全然足りません。マンホールトイレは30基、簡易トイレ（汲取り式）は83基だそうです。

泉大津市では2022年度にラップ式トイレ（排泄物をラップして処理）を120基導入されています。私はこの方式のトイレの導入を2017年に議会で要望しましたが高石市では実現して頂けませんでした。今議会でも早期の導入を求めました。自宅での避難でも一番の問題になるのがトイレです。携帯トイレを備蓄し、処分方法についても考えておく必要があります。

施設名	所在地	設置数
東羽衣ゆりの木公園	東羽衣6丁目地内	1
東羽衣フローラル公園	東羽衣5丁目地内	1
加茂ライラック緑地	加茂1丁目地内	1
綾園花木緑地	綾園4丁目地内	1
鴨公園	西取石6丁目地内	20
高師浜防災広場	高師浜3丁目地内	3
松の実園	東羽衣5丁目地内	3

【マンホールトイレ設置場所】  
松の実園はトイレキット未設置のため使用できない状態。早急な設置を要望中。また堺市のように各小中学校への設置も以前より要望。

子どもの幸せが広がるまちへ

議員活動報告

めぐみ通信 Vol.43

山敷めぐみ

2024年10月発行  
高石市議会議員（無所属）

## 地域コミュニティへの支援を



高石市には自治会を始めとして各地域に様々な地域コミュニティがあります。ボランティアで役職を担って下さる方々に支えられています。担い手の負担を減らすためにも、小学校区域において目的型組織や地縁型組織などのあらゆる団体が結集し、地域課題を自ら解決し、地域運営を行う仕組みである「**小規模多機能自治**」という方法を今議会でも提案しました。総務省も推奨している方法で、何度か以前の議会でも取り上げ、高石市での導入検討を要望してきました。「コミュニティスクール」に通じるものもあります。

また、高齢者を支える仕組みづくりも重要です。介護保険は利用してないけど、日常のちょっとした困りごとの手助けが必要な方に寄り添う、**高齢者ファミリーサポート**などの仕組み作りを求めました。高齢者のお困りごとの解決のため、高石市としても**既存のボランティアグループを支援し、必要な方に情報が届くような工夫**を求めました。